

令和7年度第1回箱根町総合計画審議会及びまち・ひと・しごと創生有識者会議
意見一覧

項 目	意 見
学校教育の 充実 【施策8】	<p>施策8は、学校教育そのものについての施策だが、30ページに「行事への参加率」「読書量30分以上の割合」「自尊感情」「英語検定受験料の補助人数」と目標指標などが並んでいるが、学校教育の充実という施策の割には、強いて言うと読書量ぐらいで、教育そのものに直結する指標が少ない印象である。</p> <p>教育として何を目指しているのかということが見えづらいなと感じる。これは現行計画がそのような体系になっている一方で、各学校で、様々な教育をされているはずだが、それが成果として、評価できるような目標体系になっていないと思う。</p> <p>少なくとも箱根では、どのような教育に力を入れていて、その成果はどういったものなのかということが、数値ではなくても良いが、把握できるようなものは欲しいなと思う。</p>
生涯学習の 推進 【施策9】	<p>目標指標に「町民1人当たりの図書貸出冊数」があるが、数値にする必要があるのかなと思う。町民にとっての図書というのは、貸出しが目的ではなくて、図書施設を利用して、そこで本に触れるということが1番大事ではないかと思うからである。貸出しする・しないではなくて、そこに行って、若い人から高齢者まで、本に触れるということが大事なのではないか。</p> <p>そういう点で言うと、今ある社会教育センターや、仙石原文化センターが主に図書を蔵書していると思うが、町民に対してアピールが足りず、地味な存在になっているような気がしている。</p> <p>ほかの市町に目を向けると、立派な文化施設があって、本を読みながらお茶を飲んだりできて、コミュニティの場にもなっている。箱根町は観光で成り立っているという面もあるが、町民にとって憩いの場になるような、身近な施設があったほうが良いと思う。ただ独自に作るとなると何億もかかるので、今ある施設をどうやったら、全町民にアピールできて、訪れやすく、本に触れてもらえるようになるのか、そういったことをもう少し積極的に考えてもらえたらと思う。一例を挙げると、大和市には規模が大きく、1日中いても飽きないような図書施設があり、また小田原市にも、駅の中にそういった施設があって、そこへ行くと、開かれた場所で図書に触れることができる。教養を高める一つの基礎にもなるので、そういうものを参考にしながら、もう少し考えていただきたいと思う。</p>

項 目	意 見
地域交通の 利便性の 確保 【施策21】	<p>基本目標は「誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり」とあり、取組方針についても、「公共交通機関の利便性」「特に町民の生活と観光客の移動手段の確保」とあるが、目標指標が「パークアンドサイクルの年間利用件数」となっており、観光客中心の考え方になっていると思う。</p> <p>自治会で実際に問題になっているのは、高齢者が病院に行くのに、バスに乗れない、乗れたとしても座れない、優先席にも外国人がそのことが分からなくて座っている、それが大きな問題になっているが、別冊の資料を見ても、それについての文言がない。それで評価が「A」「利用しやすい公共交通サービスの提供において、交通事業者と連携を取りながら、利用者の利便性を確保できた」となっているが、実態の認識はあるのか。そもそも、この項目に入っていないのか。</p> <p>自治会では、社会福祉協議会や包括支援センターと共に、福祉の面からコミュニティバスなどを出してもらえるように検討を進めており、そういったことも織り込んで今後計画策定を行なっていただきたい。</p> <p>「3施策を構成する実施計画事業」に「仙石原交差点周辺まちづくり事業（再掲）」とあるが、この実施計画事業というのはこの施策に当てはまる事業が一つだけということで、現行、該当事業が存在しないということなので、それはやはり次期計画でご検討いただきたいと思う。</p>
循環型社会 の形成 【施策22】	<p>目標指標の「ごみの焼却処理量」について、令和元年度が13,956トンで、その後令和4年度にはすごく減っている。おそらくごみ処理焼却量を減らすことを目指しているのも減っているのは良いことかと思うが、令和8年度の目標値が13,100トンで、令和6年度実績もそれを下回っているのも良いのだが、傾向的には令和4年度以降増加しているのも、数値上は目標達成しているものの、減らすという目標は達成できていないような気がする。</p>
総合戦略 戦略目標4	<p>起業・創業件数の目標指数について、民泊などの起業もあるとのことだが、民泊は、そこに建物、家があればできるので、極端に言えば、外国にいても起業できてしまう。起業件数を目標数値にするのであれば、起業の中身が大事になってくるかと思う。宿泊者は1泊して騒いで帰ってしまい、箱根のブランドが傷ついてしまうということもあるので、やはり、起業を目標に据えるのであれば、具体的な戦略、戦術を持って、どのような企業に来てほしいのかという考えがまずあったうえで数値目標設定すべきだと思う。</p>
その他	<p>総合計画全体を見ると、町の取組みとしては非常に多種多様で素晴らしいと思う。先日、湯本小学校が完成して見に行ったら、非常に素晴らしい校舎になったと思う。ただ、児童数が徐々に減ってきている。この先もどうなるか分からないという状況で、次は仙石原小学校が新しくなると聞いている。それもどういう施設になるか分からないが、建物はあるのに児童がいなくなるというのは非常に良くないことなので、今後移住してくる方もいるかとは思いますが、いかに定住人口を増やすかということは非常に大事だと思う。</p> <p>現状、湯本に住んでいる人は中学校ぐらいから、小田原に行く人もいると聞いている。湯本小学校がきれいになったことで、若干の歯止めにはなっているが、そもそも人口減少の中で、どうやったら、児童が適正な人数で教育を受けられるか。外国人の親御さんも含めて、これから色々対策を取っていかなくてはならないと思う。言語に関しても、分からない児童もいると思う。ほかの市町でもそういう問題を抱えていると思うが、箱根町も例外ではなく、そういうことは、今後取り組まなくてはいけないと思う。</p>

項 目	意 見
その他	<p>昨今オーバーツーリズムが目立ってきたということと、外国人観光客の増加によるごみの問題、外国人労働者の増加による共生社会の問題など、色々な課題が浮き彫りになってきたと感じている。東京や京都での外国人のマナーの悪さなどをSNSではよく目にするが、箱根ももう他人事ではないかなと思っている。子育てに関して力を入れているのであれば、防犯など安全性の向上も必要だと思うし、私の近所にはご高齢の方がたくさんいるが、職を失って生きがい欲しいというような声を聞く。一つ一つばらばらの課題として捉えるのではなく、高齢者の活動と子育ての安全性、あとは外国人との多文化交流、日本文化の理解を推進するという、それについても箱根の寄木細工への理解など、別々ではなくつなげて、スムーズに取り組めていたら良いかなと感じた。</p>
その他	<p>住んでみると、買い物をする場所が少ないとは思ったが、既に私が感じたことは行政で取り組んでいるとのことなので、このまま順調に進んでほしいという部分と、これまでは見えなかった問題で、ごみの問題や自然環境への関心について、私は虫が好きでよく写真を撮ったり触ったりするが、お孫さんがいるホテルの高齢の男性スタッフと、最近の子どもはそういうことができないよねという話をした。箱根の自然豊かな環境を活用して、近くに地球博もあるし、セミナーなど積極的な自然環境学習などしていただけたら嬉しいと思う。</p>
その他	<p>ネパール人の方が多く働くようになったということで、大家さんがネパール人に困っているという話を聞いた。修復不可能くらい雑に物件を使われてしまうので貸したくないということだったが、これから外国人住民が増えていく中で、外国人より日本人を優先したいという考え方も出てくるかと思う。もっとリアルな声を聞くことが必要だと思っている。</p>
その他	<p>評価という部分で、もちろん内部評価は絶対に必要で、計画にしても、戦略にしても、各部長がそれぞれの目標値や達成度に対してA B C Dの評価を付ける。これは当然必要なことだと思う。ただ外部評価も当然必要だと思っている、町が一つの会社だとすれば、部・課長がよくやったねというだけで終わるのではなくて、受益者の町民であるとか、あるいは観光事業者であるとか、そういった人たちからのよくやってくれたね、いやまだまだだね、という、そういった評価を反映することが、この会議の意味だと思っている。ただ正直、全部読んで評価しろというのは無理だと思う。外部評価については、もう少し評価の期間について、3年分まとめてではなく、1年や半年など期間を区切り、委員にもそれぞれ得手不得手があるので、この委員さんにはこの部分について評価をお願いします、というように予めお願いし、そのヒアリングを終えたうえでこの会議に臨むなど、そういう形にしていけないと難しいのではないかなと思った。町としては進めやすいのかもしれないが、きちんとやろうとするならば、そういったやり方が必要かなと思う。</p> <p>冒頭にお話があった、町民の方々が交通渋滞で非常に苦労しているという話は、あちらこちらで耳にする。弊社の従業員や、特に山の上の方に勤めている従業員・役員など、皆さん何とかしてくれと言っている。これに関しては、入込観光客数、宿泊客数のK P Iなどと矛盾する部分もあると思うが、各部署でこれとこれ両方実現するには本当はもっと大きな話が必要だということになりと思う。道路をつくらなくてはいけないのか、先ほどコミュニティバスも話が出ましたが、そういったことを町でやらなくてはならないのか、そういった横ぐしの部分、もっと次元の高い部分のことをやるためにどうするかという議論は、今のやり方では出てこないかなという懸念がある。そこについての議論は次の第7次の中で必要になってくるのではないかなと思った。</p>